

第10回 外国人労働者問題を考える

◎今回の概要:

グローバル化といわれる中での外国人労働者・移民の問題を考えます。外国人技能実習生制度が大幅に修正拡大されました。国際的にも、ヨーロッパやアメリカに見るように、労働力としての移民に関する報道が日々されていて、これは日本でも例外ではなく、これまでの外国人労働者の政策と問題点と今日の論点を考えます。特に問題が多い技能実習生制度、また新たに制度が作られた「特定技能」制度をより詳しく考察します。また、移民について考えます。

○外国人労働者とは

- ・世界の移民労働者 各国の外国人受け入れ

○日本における外国人労働者の概観

- ・外国人労働者の数 ・外国人は低賃金の職種に

○技能実習生制度とその問題・実態

- ・技能実習生制度とは何か、失踪・死亡事故、不正・認定取消、管理団体許可取消

○留学生と労組支援活動

- ・留学生はバイト漬け ・外国人労組が支援活動

○改正入管法成立

- ・改正入管法成立・施行 ・入管庁発足

○特性技能制度とは

- ・特定技能：受入数・適正雇用ルール・健康保険制限、特定技能 試験開始 その送り出し国

○人手不足と外国人労働者

- ・人材不足への対応：介護人材・建設業

○自治体・地域と外国人労働者

- ・自治体の受入体制の問題点 外国人と地域の関係 地域の不安

○本音の外国人労働者受入 原発へ：一番危険なところへ

○ドイツでの外国人労働者の受け入れ

- ・戦後のガストアルバイターとその後

○日本からの戦前の海外移民

- ・ハワイ、アメリカ本土：カリフォルニア州 : 和歌山・御坊に、アメリカ村
- ・南米：ブラジル・アルゼンチン等：石川達三『蒼氓』1935年： 戦後日系人の労働者として来日
- ・戦時中：満州へ： 満蒙開拓団 : 朝鮮半島から日本へ 労働者：徴用工

○戦後：外国人労働者の受け入れ

- ・高度成長期：イランから多くの外国人労働者、日系ブラジル人の製造業への導入と帰国

○アメリカの移民問題

- ・移民の国アメリカ：各国・各地域から、様々な人種が来る
- ・ドイツ移民：ブレーメンの音楽隊 ブレーマーハーフェンの港からアメリカに移民する人々が素材
旧移民：ドイツ人、アイリッシュ：アイルランド人、カナダ出身 黒人：アフリカから奴隷
新移民：ポーランド人、リトアニア人、スロバキア人、ハンガリー人
アジア系が多くなる 南米系も 南米からの移民排除：トランプの登場
新しい移民が底辺労働者として常にもぐりこんで、先行移民はそれで上昇していく

○外国人とは何か？

- ・「労働力」は、恋愛もするし、結婚も、出産もする。人間は製品ではない（記事より）。

◎ビデオ

1) 「“日系南米人”の団地物語」より、「日系人の派遣労働者」

ETV特集 2016年11月19日 NHK教育 約4分

2) 「改正出入国管理法がスタート 人手不足解消なるか 相次ぐ外国人労働者の解雇・失踪、ベトナムから来た人たちが直面する問題」 国際報道2019 2019年4月26日 NHKBS1 約7分

◎参考文献

- ・「外国人労働者—受け入れ拡大の問題点と課題〈座談会〉」雑誌『経済』2019年3月号
- ・本多ミヨ子「研修・技能実習制度の変遷と問題点」雑誌『経済』2019年3月号
- ・佐藤卓利「外国人労働者の受入れと地域共生社会」『立命館経済学』2019年3月
- ・丹野清人「在日ブラジル人の労働者市場—業務請負業と日系ブラジル人労働者」『大原社会問題研究所雑誌』1999年6月
- ・桑原靖夫『国境を越える労働者』岩波新書、1991年
- ・藤崎康夫『出稼ぎ日系外国人労働者』明石書店、1991年
- ・池森憲一『出稼ぎ派遣工場 自動車部品工場の光と陰』社会批評社、2009年
- ・日経産業新聞編『ぼくと会社と“にっぽん再生” 変質する企業社会戸惑う現場』日本経済新聞社、2005年

□お知らせ：今後の講義予定を大幅に変更しています、「manaba+R」のシラバスをご覧ください。

特に、第12回:6月27日講義：労働問題・労働条件に関する啓発授業(厚生労働省委託事業)